<http://blog.asial.co.jp/208>

<http://support.microsoft.com/kb/839013/ja>

<http://apis.jpn.ph/fswiki/wiki.cgi?page=Win32%2FSMBoverSSH>

<http://d.hatena.ne.jp/vassallo/20061213/1166025658>

手順

1. ループバックデバイス作成
 - 1.[コントロールパネル] [ハードウェアの追加] [次へ]
 - 2.[はい、ハードウェアを接続してます] を選択 [次へ]
 - 3.[新しいハードウェア デバイスの追加] を選択 [次へ]
 - 4.[一覧から選択したハードウェアをインストールする] を選択 [次へ]
 - 5.[ネットワーク アダプタ] を選択 [次へ]
 6. [Microsoft] を選択
 7. [Microsoft Loopback Adapter] を選択 [完了]
2. ループバックデバイスの設定
 - 1.[コントロールパネル] [ネットワーク接続]
 2. 先ほど作成した仮想 NIC のプロパティを開く
 - 3.[Microsoft ネットワーク用クライアント] と [ファイルとプリンタ共有] のチェックをはずす
 4. インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを開く
 - 5.[詳細設定] [WINS] で [NetBIOS over TCP/IP を無効にする] を選択 [OK]
 - 6.[全般] で IP アドレスの設定を行う .
 7. 適当なプライベート IP を割り振る (例 : 192.168.0.1)
3. フォワード設定
 1. ssh -L 先ほど作成した IP:139 共有フォルダマシンの IP:139 SSH サーバの IP
 2. 例 : ssh -L 192.168.0.1:139 192.168.1.10:139 192.168.1.1
 3. 他のツールで転送する場合は、上記表現と同じ意味で設定する

Windows7 の場合

<http://katukawa.com/?p=3587>

基本的には XP と同じだが、445 ポートが開放できない。

なので、445 ポートを解放するツールを使うか、以下の方法で 445 を開放する必要がある。

<http://www.sshvpn.de/>

Windows7 の場合 古い情報

<http://akasaka-taro.blogspot.jp/2011/12/cifs-over-ssh-windows7-ssh.html>

ハードウェアの追加画面

コマンドプロンプトから

```
Hdwwiz.exe
```

でハードウェアの追加を行う

445 ポートについて

ポート 139 に加えて、445 も転送する必要がある。

しかし、Windows 起動時に 445 を占有されてしまっている。
そこで、SMB の起動タイミングをずらす。

SMB の起動タイミングをずらす

- ・システム管理者権限で、cmd.exe を起動します。
- ・SMB ドライバの自動開始を 次のコマンドで 不可に設定します。

```
sc config smb start= demand  
(「=」の後のスペース必須)
```

- ・portproxy ルールを設定します。

```
netsh interface portproxy add v4 tov4 listenaddress=10.255.255.1 listenport=445  
connectaddress=10.255.255.1 connectport=44445  
(以上、一行で)
```

Listen Address は、上記で設定したループバックアダプタのアドレス。

connectaddress は、listenaddress と同一であること。

connectaddress と listenaddress が異なっても大丈夫みたい。

自分でポート転送せずにポートを転送しているサーバを connectaddress に指定することもできると思う。

以上を次のように確認する。

```
c:¥>netsh interface portporxy show v4tov4  
c:¥>netsh interface portporxy show v4tov4  
Address          Port      Address          Port  
-----  
10.255.255.1     445      10.255.255.1     44445
```

- ・タスクスケジューラーを起動

(訳注、コンパネで、schedule として検索すると「タスクのスケジュール」が見つかる)

- ・「基本タスクの作成」を選択すると、新しい Window が表示される。
- ・タスクの「名前」を Start SMB driver とでも入力し、「次へ」
- ・「ログオン時」を選択して、「次へ」
- ・「プログラムの開始」を選択して、「次へ」
- ・"プログラムの開始" に、 C:\Windows\System32\Net.exe

```
"引数の追加" に start smb  
「次へ」
```

- ・完了」をくりっくしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く』をチェックして、「完了」
- ・タスクプロパティ Window で、「ユーザがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」を選び、「パスワードを保存しない」にチェックし、「最上位の特権で実行する」をチェックして、「トリガー」タブへ
- ・「編集」をクリックし、「任意のユーザ」をチェックして、「OK」し、「条件」タブへ
- ・「条件」Window で、「コンピュータを AC 電源で使用している場合のみタスクを開始する」のチェックを外して、「OK」
- ・リポート

- portproxy の状態を確認

```
c:¥>netstat -an | find ":445"  
TCP 10.255.255.1:445 0.0.0.0:0 LISTENING なら OK  
0.0.0.0:445 などがあれば、最初の「portproxy コマンド実行」が 成功していない。
```

- ポート転送

```
L 10.255.255.1:44445 internal-fileserver.yourdomain.com:445
```